

■事後評価(社会資本整備総合計画(都市再生整備計画))

屋島地区都市再生整備計画

計画の名称	屋島地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）	交付対象	高松市
計画の目標	大目標：日本初の国立公園で、国の史跡・天然記念物に指定されている屋島において、新たな魅力と固有の価値を創造し、世界に誇れる高松市のシンボル地区として再整備することで、国際競争力の強化と地域の活性化を図ること。 目標1 屋島の持つ上質なポテンシャル（歴史的資産・ロケーション）を有効活用しながら、さらに誘客を強化しうる新コンテンツを整備すること。 目標2 山上への唯一のアクセス道路である民間有料道路を公有化し、通行無料化や再整備（高質化・景観整備）を行い、山上へのアクセス向上を図ること。（シンボルロード整備） 目標3 歴史・文化資源や地形・地質遺産など、屋島が保有する世界的価値を最大限活用し、外国人観光客等の誘致及び集客促進を図る。		

1. 事業効果の発現状況：【一定の効果があった】

・屋島山上へのアクセス道路の公有化（無料化）や法面・トンネル等の安全対策、また、景観まちづくり刷新支援事業による屋島山上交流拠点施設の整備事業を複合的に行った結果、屋島山上交流拠点施設の指定管理者などによるイベントの開催等によって新たな賑わいが創出され、平成28年度以前は50万人程度で推移していた屋島山上への年間来訪者数が、令和4年度では66万人余りを記録し、来訪者数の増加に寄与した。
 また、本事業から自然連鎖的に発生した近隣商業施設のリニューアルなどにより、屋島の魅力の向上や集客促進に繋がっている。

計画の成果目標（定量的指標）														
屋島山上入込客数を50万人/年（H27）から70万人/年（H31）に増加 屋島山上入込客の7割が利用する拠点施設を整備 山上商業施設売上げを20%増加														
定量的指標の定義及び算定式														
										定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考
										当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)		
屋島山上入込客数										目標値：500,000人 達成値：500,000人		700,000人 666,031人	95%	達成値については山上拠点施設オープン後に計測し、令和4年8月～令和5年7月までの実績とした。
山上拠点施設の利用者数										目標値：0人 達成値：0人		490,000人 189,536人	39%	達成値については山上拠点施設オープン後に計測し、令和4年8月～令和5年7月までの実績とした。
山上商業施設売上高伸び率										目標値：100% 達成値：100%		120% 120%	100%	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	356百万円	A	356百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%	進捗率 (事業費ベース)	94.1%
実施事業費	合計 (A+B+C+D)	335百万円	A	335百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%		

交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考	
									H29	H30	H31	R2	R3					
A10-001	都市再生	一般	高松市	直接	高松市	屋島地区都市再生整備計画	道路、高質空間形成施設	高松市				—	—		356	335	100%	完了
										合計					356	335		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考	
									H29	H30	H31	R2	R3					
										合計								
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考	
									H29	H30	H31	R2	R3					
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考	
									H29	H30	H31	R2	R3					
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			

要素事業の事業進捗

計画通り進捗した

2. 今後の方針

完了

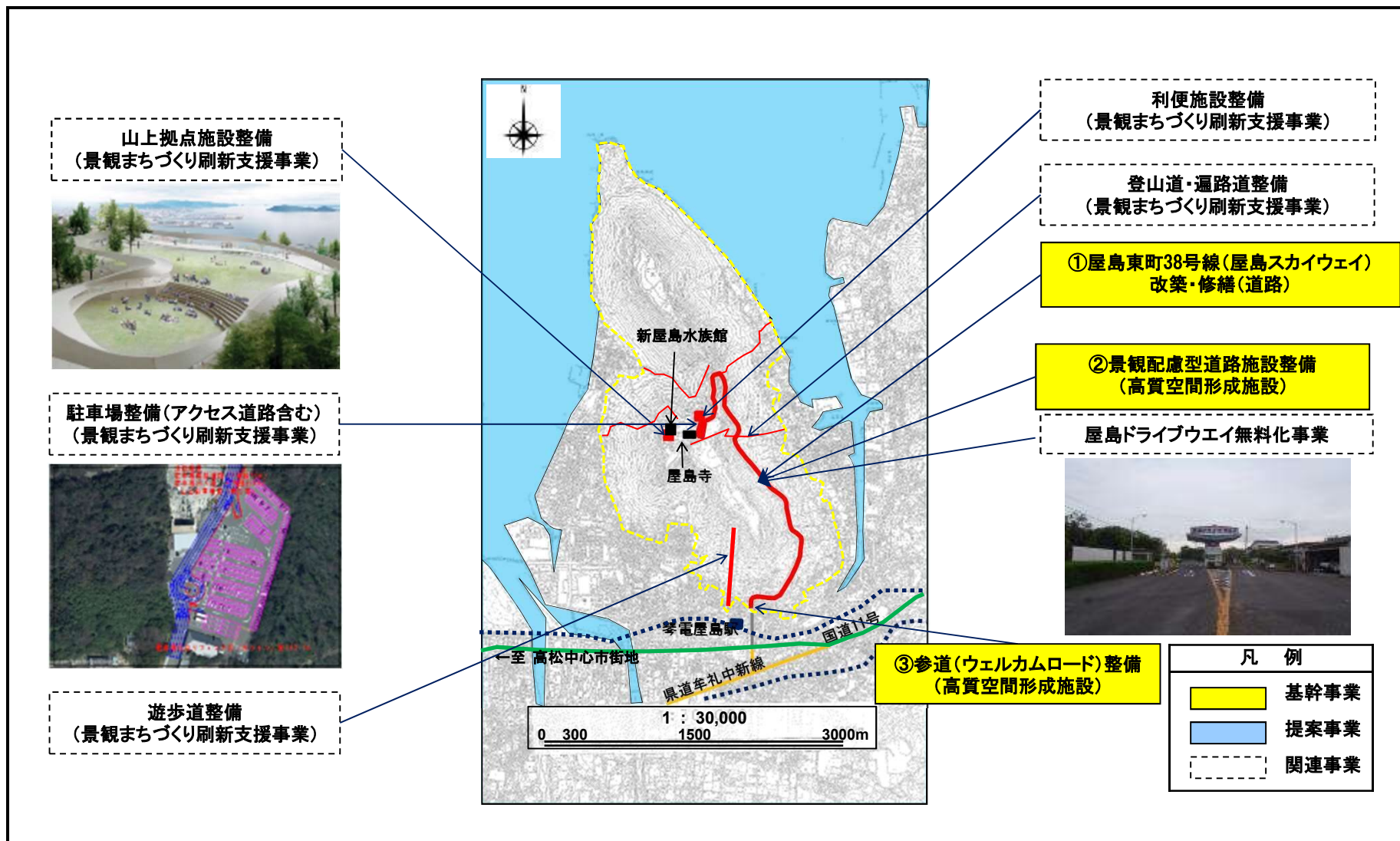
事後評価書参考資料

■事後評価(社会資本整備総合計画(都市再生整備計画))

屋島地区都市再生整備計画

高松市道路整備課

位置図



事業概要

基幹事業	事業内容		実施内容	実施施工量		進捗率
	①	道路改築・修繕	屋島東町38号線 (屋島スカイウェイ) の改築・修繕	・法面保護 ・トンネル補修 ・舗装修繕	A=4,038㎡ N= 1 箇所 A=15,696㎡	100%
	②	高質空間形成 施設	景観配慮型 道路施設の整備	・道路照明灯 ・道路標識 ・安全施設	N=33基 N=22基 N= 1 式	100%
	③	高質空間形成 施設	参道(ウェルカムロード)及び 多目的広場の整備	・修景石設置 ・多目的広場整備	L=182m N=1箇所	100%

主な実施内容 ①



舗装の修繕、道路照明灯の更新



舗装の修繕、ガードレールの更新



舗装の修繕、トンネル内面の補修

※これらのほか、山側の法面保護(落石防止網の更新)等を実施したことにより、屋島山上へのアクセス環境が向上し、安心・安全な通行を確保しました。

主な実施内容 ②



舗装修繕、修景石の設置



多目的広場の設置



多目的広場(ポケットパーク)の設置



多目的広場(バス停等)の設置

高松市屋島山上交流拠点施設 オープン後の賑わい



<その他、屋島山上でのイベント実施について>

○サイクリングイベントの開催

屋島スカイウェイの市道化によるサイクリスト増加を見込み、サイクルウェア販売企業の「Rapha」が山上を訪れたサイクリストをもてなすイベントを開催。

○「屋島山上天空のガーデンマルシェ」の開催

地元関係者が中心となり、屋島山上において、食事や買い物等を楽しめるマルシェイベントを催行。

○「やしまーけっと」の開催

出来たばかりのやしまーるの屋外広場等を舞台に、やしまーるの指定管理者と地元事業者が連携し、屋島の夜景資源を活用したマーケットイベントを催行。その他、映画上映やミニサーカスも実施。



<民間活動への誘発効果>

れいがん茶屋

屋島山上交流拠点施設の整備を契機に、同一設計者に依頼して、ガラスの外壁デザインにリニューアル。併せてメニューもリニューアルし、多くの利用者を呼び込んでいる。



四国村

屋島スカイウェイの整備を契機に、エントランス部分を中心に再整備を行った。エントランス棟の「おやねさん」は、瀬戸内国際芸術祭の作品にもなっている。



新・屋島水族館

屋島山上交流拠点施設の整備と前後して、廃業の意向を示したことから、本市が資金調達を行い、設計から運営までを一括で民間が担うDBO方式による再整備を予定していたが、民間によるリニューアル・運営継続が決定。



既存の近隣商業施設のリニューアルも同時期に行われ、集客促進に繋がっています。

<屋島に関する情報発信>



屋島に関する観光情報サイト
(<https://www.yashima-navi.jp/>)

ホームページやFacebookなどの各種メディアを通じ、屋島の魅力や屋島に関する観光やイベント情報などを発信しています。

Facebook等による情報発信



(<https://www.facebook.com/yashimanavi/>)